

平成31年4月24日

第7回スポーツ振興賞の発表
～東京ビッグサイトで授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会（東京都港区 会長 斎藤敏一）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 [JSTA]（東京都港区 会長 原田宗彦）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第7回スポーツ振興賞の各賞の授賞作品を発表します。

応募総数23件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る5月22日（水）に東京ビッグサイト（東京都江東区）の会場で行います。

1. 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構は、スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名：泳ぐ社会貢献（水の世界もバリアフリーに！）

応募者：認定NPO法人プール・ボランティア（大阪府大阪市）

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名：世界遺産×山岳スポーツ～日光を愛する人々と地域住民で作り上げた
「日光国立公園マウンテンランニング大会」～

応募者：日光トレイルランニング実行委員会（栃木県日光市）

○観光庁 長官賞

作品名：外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP

応募者：SAMURAI TRIP（東京都大田区）

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名：スミセイ “ Vitality Action ” の取り組みについて

応募者：住友生命保険相互会社（東京都中央区）

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：STREET RUGBY

応募者：一般社団法人 STREET RUGBY ALLIANCE（東京都中央区）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：廃校をスポーツ合宿施設に再生しスポーツツーリズムの拠点に

応募者：株式会社銚子スポーツタウン（千葉県銚子市）

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：インバウド スポーツ合宿による地域活性化

応募者：一般社団法人アントラーズ ホームタウン DMO（茨城県鹿嶋市）

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○作品名：泳ぐ社会貢献（水の世界もバリアフリーに！）

応募者：認定NPO法人プール・ボランティア（大阪府大阪市）

誠に地道ながら 20 年間、弛まず活動を続け市民権を得た仕組みとされた功績は誠に大。社会課題の解決への果敢な取組で限られた環境の中で、できることから取組をはじめ、今や大きな活動に育っている。4,000 人の泳げるボランティアを拡大してきた努力も流石。障がい者やその保護者にも配慮し、いずれも楽しめる内容としている。障がい者のスポーツ普及に貢献しており、今の日本に必要な社会として大切な取組。継続性もあり、同様の NPO が全国に設立されたら素晴らしい。

○作品名：世界遺産×山岳スポーツ～日光を愛する人々と地域住民で作り上げた「日光国立公園マウンテンランニング大会」～

応募者：日光トレイルランニング実行委員会（栃木県日光市）

世界遺産や国立公園を走るといふ自然を活かした立体的な取組（文化とスポーツの掛け合わせ）である。世界遺産二社一寺の関係者の協力を得るユニークな大会で、トレイルランの魅力に加えて世界遺産エリアの魅力が加味された興味深いコースになっている。廃業したスキー場の利活用という視点がユニークで回を重ねて良くなっている。地域活性化の手法としてのスポーツ活用例で、世界遺産が後押ししている。行政、補助金に頼らない大会運営をしている。

○作品名：外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP

応募者：SAMURAI TRIP（東京都大田区）

剣道体験をインバウンドのコンテンツにするユニークな取組。武道ツーリズムのコンテンツとして評価できる。スポーツ体験以外にも、工場見学や和食体験がある。スポーツ×日本文化×インバウンドという掛け算の事業であり、2017 年 4 月のスタート以来、世界 30 カ国から 1,346 名のゲストを受け入れた実績もある。発信力が高く、今後の広がりにも期待ができる。

○作品名：スミセイ “ Vitality Action ” の取組みについて

応募者：住友生命保険相互会社（東京都中央区）

健康経営の推進や社会への健康増進の働きかけを含むCSVプロジェクトの推進は、国民の健康寿命の延伸に寄与する取組である。今回応募のあったスミセイ” Vitality Action” の取組は、分野別のアスリートを起用することで発信力も高く、また、自治体や企業の事業とも連携し、社会的にも大きな好影響を及ぼすものと期待している。今後も、この様なプロジェクトなどを通じて社会全体の健康寿命の延伸に寄与していくことを期待したい。

○作品名：STREET RUGBY

応募者：一般社団法人STREET RUGBY ALLIANCE（東京都中央区）

なかなか身近に感じることの少ないラグビーをストリートラグビーという形で普及を図ろうとする素晴らしい取組。ラグビーに注目が集まる環境の中での、大々的

な取組。初心者を含めた老若男女が楽しめ、場所の制限がなく実施できる。アスリートと市民の触れあいの場でもあり、街づくりに一役かっている。女性・障がい者・高齢者等幅広い年代の参加により、「ダイバーシティ」の推進である。スポーツ参加人口の増加につながり、盛り上がりを見せているストリートスポーツ。まだまだ知名度は低いですが、これからの拡大に期待する。

- 作品名：廃校をスポーツ合宿施設に再生しスポーツツーリズムの拠点に
応募者：株式会社銚子スポーツタウン（千葉県銚子市）

全国各地で取組が進んでいる廃校再利用の一つであるが、増え続ける廃校を有効に利活用している好事例である。廃校をスポーツ合宿の拠点にという発想と事例は少なくないが、この事例のような恵まれた環境はあまり聞いたことがない。今後の活用の大きな可能性が期待できる。廃校の再生プロジェクトとしてこれからの発展に期待したい。

- 作品名：インバウンド スポーツ合宿による地域活性化
応募者：一般社団法人アントラーズ ホームタウン DMO（茨城県鹿嶋市）

鹿嶋アントラーズのブランドと域内施設を活用した取組で海外からの合宿受け入れを行い、宿泊を多く創出している。サッカーアントラーズのホームタウンとしてインバウンドのサッカー合宿に注目したのは good !! サッカーチームが、地元と密接に連携し、スポーツを通じた、街の課題解決に取り組んでいる。日本には前例のない「インバウンドスポーツ合宿ビジネス」の事業であり、初年度から手ごたえのある成果を得ている。今後のビジネスとして継続的に発展できるオペレーションモデルの構築も期待できる。インバウンドスポーツ合宿という新しいジャンルへの挑戦が評価でき、アントラーズの行う独創的な DMO インバウンドで確実な成果が出ている。【2018 年度の設立以来、9 ヲ国から合宿を受け入れ、合計 1,596 の宿泊を創出】

3. 受賞作品概要 「別紙」

4. 問い合わせ先

- ・公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局（担当：板垣）
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス 3F
TEL:03-6434-9510 FAX:03-6434-9511
E-mail : jshif@spo-danren.jp
- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局（担当：井塚）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館 B1F
TEL:03-6441-2045 FAX:03-6441-2046
E-mail : info@sporttourism.or.jp